

提案のポイント

項目	ポイント
タイトル	<ul style="list-style-type: none">□ 事業の内容が伝わるタイトルをつけてください。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none">□ 事業の概要を200字程度で記載してください。
現状・課題	<ul style="list-style-type: none">□ なぜ事業を実施したほうがよいと考えたのかが分かるように、記載してください。□ 日々の生活の中で感じていること(不安、困難等)や実体験を踏まえて記載してください。□ 統計資料や既存の調査結果等の引用があると説得力があります。□ 栃木県の現状や課題がよくわからないという方は、「新とちぎ未来創造プラン」も参考にしてください。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none">□ 課題を解決するために効果があると思う取組の内容を具体的に記載してください。□ 「いつ」、「だれが(だれに)」、「どこで」、「なにを」、「どのように」を考えると、内容を具体化しやすいです。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none">□ 事業の内容に記載した取組を実施することで、どのような効果が期待できるのか、課題の解決につながっていくのかを詳しく記載してください。
資料の添付	<ul style="list-style-type: none">□ 図表や写真、イラストの提出を希望する場合は、提出してください。□ 提案内容を記載したレポートやプレゼンテーション資料の提出はできません。

[新とちぎ未来創造プラン](#)



[新とちぎ未来創造プラン
こども版動画](#)



提案例①

タイトル	地元の先輩に聞く、リアルな生き方トーク
事業の概要	<p>成功例や決まった進路モデルだけを見ることで将来に不安を感じる若者に向けた、地元出身者の多様な生き方を知る場をつくる取組です。</p> <p>地元で働く人や先輩を招き、成功だけでなく失敗や悩みも含めて本音で語ってもらい、少人数での対話や質問を行います。</p> <p>内容は記録として残し、いつでも見られるようにすることで、「地元からでも多様な道がある」と知り、自分のペースで将来を考えられるようになると思います。</p>
現状・課題	<p>成功した人の話や、決まった進路モデルばかりを見ていると、「この通りにできなかつたらダメなのかな」と不安になります。地元出身でいろいろな生き方をしている人の話を聞く機会が少なく、将来を前向きに考えにくいと感じています。</p>
事業の内容	<p>地元出身の先輩や、地元で働いている人をゲストに招いて、仕事や人生について話を聞く場をつくります。大学進学や就職だけでなく、回り道をした人、失敗した人、地元に残った人、外に出て戻ってきた人など、多様な話を聞けるようにします。</p> <p>話の内容は、成功したことだけでなく、失敗したことや悩んだことなども、本音で話してもらいます。少人数での対話や質問タイムを取り入れ、気軽に聞ける雰囲気になります。</p> <p>いろいろな人が参加しやすいようにオンラインで実施し、参加できなかった人のために動画や記事として記録も残し、いつでも見返せる形にします。</p>
期待される効果	<p>「こんな生き方でもいいんだ」と思えるようになり、将来への不安がやわらぎます。地元からでもいろいろな道があると知ることで、自分のペースで進もうと思えるようになります。</p>

提案例②

タイトル	地元の仕事が見える「若者向けおしごと図鑑プロジェクト」
事業の概要	<p>栃木県では、大学進学を機に若い女性が都市部へ流出する傾向が強くなっています。その背景には、地元企業での女性の働き方や将来像が見えにくいことがあると考えます。</p> <p>そこで、若者自身が地元企業や女性社員を取材し、仕事や生活の両立、地元を選んだ理由などを発信する「若者向けおしごと図鑑」を作成・公開する取組を提案します。</p> <p>進路指導等でも活用し、地元での働き方を具体的にイメージできる機会をつくることで、地元離れの防止やUターン就職につながると期待できます。</p>
現状・課題	<p>栃木県は、10代後半から20代の女性の転出が多くなっています。私の周りの友人も、大学進学で地元を離れてそのまま都市部で就職するケースが多いと感じています。</p> <p>これは、地元企業の名前は知っていても、女性がどのように働いているのか、将来のライフプランと両立できるのかが見えにくく、地元を選択肢に入れづらいことが原因だと考えます。</p>
事業の内容	<p>中学生・高校生・大学生などの若者が主体となり、地元企業や地元で働く人への取材を行います。特に、20代前半の女性が「自分も地元で働けそう」と感じられるよう、仕事内容や1日の流れだけでなく、女性社員の働き方ややりがい、仕事と生活のバランス、地元を選んだ理由などを重視して取材します。</p> <p>取材内容は、若者の目線で分かりやすくまとめ、WebサイトやSNS、冊子として発信し、「若者向けおしごと図鑑」として公開します。また、学校の進路指導やキャリア教育の場でも活用し、進学前・就職前から地元での働き方を具体的にイメージできる機会をつくります。</p>
期待される効果	<p>地元で活躍する女性の姿を知ることで、若い女性が地元で働く将来を現実的に考えられるようになります。大学進学をきっかけに地元を離れても、戻るといった選択肢を持ち続けることができ、20代前半の女性の流出防止やUターン就職につながることが期待されます。企業にとっても、女性目線の発信が新たな魅力の発掘につながります。</p>